那須の歴史再発見！

那須町の地域文化遺産

vol.19



専称寺

今回は伊王野地区の専称寺を紹介します。

専称寺は、時宗の寺院で、伊王山専称寺と称し、また田辺道場とも呼ばれます。開基は那須氏の一族で伊王野氏の祖・伊王野資長によるもので、文永4年（1267）の開基とされていますが、それ以前から持仏堂は存在したと考えられています。また、伊王野資長が開基したとされるゆかりの寺として、滋賀県東近江市の弘誓寺があり、そこでは愚咄坊という名で創建したとされています。

専称寺は、伊王野氏の菩提寺・時宗の道場として発展し、また伊王野氏改易後は伊王野地区の檀家寺として機能しました。専称寺は寛文～延宝年間（1661～1681）に本堂・宝物などが焼失したといいます。現在の本堂は、安永3年（1774）に落成したものを、大正時代に改修築したもので、山門は昭和39年（1964）に開基700年記念として新築されました。

歴代の住職には学者肌・教育者の人物がおり、29代円立は多くの子弟を育てるとともに、那須町の民話で有名な北向地蔵の開眼にも携わった人物として知られています。また32代円山は遊行上人（時宗総本山の住職）の候補者だったともされ、41代徳謙は維新館（旧伊王野小学校の前身）の先生としても活躍し、45代龍瑞は考古学者として栃木県内外で著名な人物でした。

専称寺には、国指定重要文化財・金銅阿弥陀如来立像（本尊）と栃木県指定文化財・勢至菩薩立像（脇侍）が遺されています。栃木県のデジタルアーカイブでは高精細画像で見ることが出来るとともに、今月23日にはご開帳がなされますのでぜひ足をお運びください。また、伊王野出身の画家・渋井鉄華による本堂の天井画や境内には筆硯供養碑が遺されており、他にも教育者で歌人の小山田虎の句碑や墓地には伊王野氏の旧墳墓があり五輪塔やその残欠が遺されています。

春には、見事なシダレザクラが咲き誇る場所であり、寺の背面には伊王野城も見えます。専称寺から伊王野の歴史を一望してみてはいかがでしょうか。



天井画

▼問合せ　那須歴史探訪館
☎74-7007

那須歴史探訪館

■申込み・問合せ
那須歴史探訪館☎74-7007

探訪館ホームページ

特別展「未来へつなぐ！那須町の歴史文化遺産」好評開催中！

町を代表する文化財を一堂に紹介するとともに、人口減少のなか地域での文化財継承・探訪館の役割について考えます。

▼会　期　12月6日㈰まで
▼主な展示品　鰐口（県指定）、聖徳太子立像（町指定）弘法大師画像（町指定）ほか
▼入館料　大人300円
（中学生以下無料）

展示解説

▼日　時　12月6日㈰
午後2時～3時
▼場　所　歴史探訪館
※要入館料

黒田原ウォーク「黒田原の成り立ちを知ろう！」

古写真や古地図を見ながら黒田原の歴史や街の成り立ちを歩きながら確認していきます。

▼日　時　11月22日㈰
午後2時～4時
▼定　員　15人　要予約先着順
▼集合場所　役場前

国重要文化財「金銅阿弥陀如来立像」県指定「金銅勢至菩薩立像」がご開帳されます

伊王野氏の祖・伊王野資長ゆかりの国重要文化財「金銅阿弥陀如来立像」などがご開帳されます。

▼日　時　11月23日㈰
▼場　所　専称寺（伊王野1622）

ボランティア古文書応援隊募集中！

江戸時代～昭和時代にかけての古文書などを町民の皆さんと一緒にクリーニングをしています。

初心者でもできる作業ですのでぜひご参加ください。

▼日　時　毎週木・金曜日
午前10時～午後3時
※午前または午後のみも可能です。

ホームページで古文書の目録を公開しています

当館が収蔵する古文書の一部をホームページで公開しています。

史料の閲覧は当館でもできますのでご相談ください。